

校長通信（5月号）

May / 8th / 2025 / VOL 032

スクールモットー「Be Playful 楽しいは全ての源泉」について

困難なことや試練を目の前にした時、何が必要となるでしょう。戦後日本は急激な経済成長を迎え、会社のためにとにかく一生懸命に働く精神力と体力が必要だということで、「忍耐」「我慢強さ」ということが重要視された時代がありました。実際に、そうした力によって日本の高度経済成長は支えられ、今の日本の土台を作ってくれたことは間違いありません。当時、こうした社会背景から「忍耐」「我慢強さ」「従順さ」を身につけることを教育目標としている学校も少なくありませんでした。しかし、時は流れ2000年代に入ると、日本経済の行き詰まりと急速な少子高齢化からか、それまでの当たり前が通用しない時代へと突入することとなります。経済不況、気候変動、政治不信、グローバル化、インターネット普及が社会にもたらす影響は非常に大きく、我慢強さよりもむしろ、合理的であるかどうか、あるいは効率的であるかどうかが重視されるようになり、よりスマートに、よりスピーディに課題を解決する力がより重要であるという考え方へとシフトすることとなります。AIなどの新しい技術が普及したことにより、この考え方がより一層浸透していくこととなりました。しかし、同時に違和感も漂うこととなります。表面的なスキルや小手先のテクニックばかりに目が行くようになり、何かが足りない、あるいは何かを見失っているのではないかという不安感が漂うようになってきました。人としての内側、背骨がない状態、自立したくても自立できない状態（背骨がないから当然）になりつつあるのではないかという懸念。それが今、この時代なのではないでしょうか。

いつの時代も、その時代を生きるうえで必要な考え方がある。正しい、正しくないの2項対立的に論じるべきではなく、さまざまな側面や背景を考慮し、その考え方と向き合っていくことが必要だと、私は思います。忍耐や我慢強さが必要だった時代、合理性や効率性が重視された時代、それらがあって今の時代があるんです。そのどちらが正しいかどうかの問題ではないのです。重要なのは、今、この違和感が何なのか、そして、この違和感と向き合っていくためには、どういう考え方をするのが大切なのかです。

要するに、人らしさが足りないということなのだと思います。「人らしさ＝暖かさ、やさしさ、楽しさ、熱さ、泥臭さ・・・」限りはありませんが、今、この時代が求めていることはそうした人間らしさ、人間臭さなのではないかと思っています。カッコよく、スマートに何かをこなすよりも、泥臭く必死こいてもがきながら、失敗を繰り返しながら、何とかしようとしている姿が、この時代が求める「何か」ということなのだと思います。そしていつの間にか、それが「楽しさ」に変わるときが来ます。

今から18年前、日本の大学を卒業し、オーストラリアで留学をしていたころ、それまで一生懸命学んできた英語が全く通用せず、自信がなかなか持てない時期がありました。日本の英語の授業でやってきたことが、日常的なコミュニケーションの場や、グループディスカッションなどの実践の場で生かされないどころか、本当に何もできなかったからです。周囲の留学生は堂々とプレゼンテーションし、中には4ヶ国語、5ヶ国語を話すことができる生徒もいました。自分は周囲よりも劣っている、英語がすらすら話せない自分が恥ずかしいと思うようになり、自分がこれまで日本で時間をかけて学んできたことが無駄だったとを感じるようになってしまいました。そんな時、クラスでもネイティブに近い英語を話し、いつもイキイキとしているブラジル人の友達に相談をしてみました。どうやったら、自分もイキイキと英語が話せるようになるかを。彼は、

「誰一人として完璧な英語を話す人はいないでしょ。お前が完璧な日本語を話せないようにね。大事なのは楽しむこと。何をやるにせよ、楽しんでやるのが一番なんだよ。」

彼のこの言葉は、当時の私を原点に帰らせてくれました。我慢強くコツコツやることも大事、効率よく勉強することも大事。でも、もっと大切にしなければいけないことは、相手との対話を楽しむこと、通じない状況を楽しむこと、挑戦を楽しむことです。そして、楽しいから、これまで以上の努力ができる。これまで発揮できなかった力が出るようになる。楽しいは学びの力の源泉であると気づきました。楽しいからこそ、辛いことを乗り越えられる、楽しいからこそ、大変なことも継続することができるのです。「楽しいは強い」そうブラジル人の友達が教えてくれたように、楽しさは人を力強くしてくれる魔法の力なんです。御殿場西高校のスクールモットー「Be Playful」にはこんな思いがこもっています。

探究ゼミ（２年生）「地域活性化計画」初回は南半球からオンライン授業

今年度の探究学習がスタートしました。今年度は２年生から小規模なゼミに分かれてさまざまなテーマに基づいて探究学習を行います。今年度、頼むから！ということで、僕も探究ゼミをもつことができました！「地域活性化プロジェクト」をテーマに、この北駿地域（御殿場・小山・裾野）の課題解決をさまざまな視点で取り組んでいきたいと思っています。

４月３０日は各ゼミに分かれての初回授業ということでしたが「地域活性化プロジェクト」ゼミは校長がまさかのオーストラリア出張という事態でしたが、南半球から中継で探究授業を強行するという、とってもグローバルでICTフル活用な授業をすることができました。探究は可能性を限りなく広げていく、いわば総合格闘技です。創造と貢献をテーマに１年間みんなでがんばります！



「Go Beyond Radio」始動

２年間放送してきた「御殿場西高校の夢ラジオ」ですが、この４月をもって一区切りとさせていただきます。５月からは「Go Beyond Radio」に番組名を変更してリスタートとなりました！想像以上の自分になる、今の自分を超越していくことを実践する生徒たちの姿、先生方の奮闘する姿をリアルタイムでお伝えしたいという思いから、今回の変更へとつながりました。

タイトル Go Beyond Radio

本放送 第１第３火曜日 朝７：００～

番組MC 山本ひろみさん、生徒、先生、校長



KIC創立記念式典

御殿場西高校の系列校Kardinia International Collegeが創立２９周年ということで、日本からお祝いのメッセージ動画を送りました。式典で動画が上映され、現地の生徒や教職員がとても喜んでくれました。今でも創立者や御殿場西高校との絆を大切に思っているということ、私たちも心から感謝しています。本校の在校生も、特別な友達がオーストラリアにいることをこれまで以上に幸せに感じてもらいたいと思います。



保護者の皆様へ

新緑の５月。本校の教育活動にご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。４月当初の初々しさから、令和７年度がここから本格的となっていきます。「５月病」という言葉がありますが、肩の力が一度抜ける時期と言えるかもしれません。緊張の糸が切れ、目標がぼんやりしたり、モチベーションが低下しがちな時期といえます。ですが、そうした時期も必要なのかもしれません。常に１００％でいることは不可能です。５０％の日（時期）があるからこそ、いざという時に１００％の力が出せるようになります。長い目で見ながら、お子様の成長を見ていきましょう。

５月の主要行事 ５/９（金）授業参観／学級懇談会／説明会

保護者会後援会 総会

５/２４（土）保護者会後援会主催 奉仕活動

５/３０（金）仰高祭（体育の部）

